

9月の支出(図書、備品、慶弔、飲食は除く)

56,128円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	10,185円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	13,695円
会場費(勉強会会場費)	600円
通信費(携帯電話代、折込代)	31,648円
支出計 08/9/1~08/9/30	56,128円
寄付 匿名2名	2,000円

市政を考える 月刊武松

発行日
08/10/1

第95号

12500部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠 (市議会議員)
武松政策研究会

2009年度31億円不足!?

合併検討会の財政推計(一般会計)から

■任意合併協議会早期設置の請願採択

これまで県西2市8町では、全首長を含む**合併検討会**を設置し、主要な行政課題について調査検討し、その結果を概要版にまとめ、住民説明会等を開催してきました。

小田原市議会9月定例会で、市町村合併のより専門的な検討を行う**任意合併協議会**の早期設置の請願が、本会議で賛成多数で採択されました。

※合併協議会とは、

市町村合併問題は、住民生活に直接影響する極めて重要な問題であることから、合併特例法では、合併協議会(法定)の設置を義務づけています。そして法定協議会で協議すべき事項をあらかじめ調整、検討、協議する任意合併協議会を設置することが通例となっています。

任意合併協議会は、合併の当否を含め合併に関する調査・研究のほか、住民への情報提供を行うことを役割としています。

■歳入は、市町村税漸減、繰越金激減

図1の歳入推計から、市町村税漸減と繰越金激減がわかります。これは団塊世代の定年退職に伴う給与所得者の減が主な原因です。

市町村税 市民税(個人・法人)、固定資産税(土地・家屋・償却資産)、軽自動車税、市町村たばこ税、都市計画税、入湯税等
繰越金 決算剰余金を翌年度の歳入として繰り越して使用するもの。

■歳出は、物件費・補助費等漸増

図2の歳出推計から、人件費・扶助費は漸減、物件費・補助費等は漸増です。職員減に伴い、委託料等が増加する見込みです。

物件費 賃金、旅費、交際費、需用費、役務費、備品購入費、委託料、使用料及び賃借料等

扶助費 生活保護法、児童福祉法、老人福祉法等に基づき、被扶助者に対し、その生活を維持するために支出する経費

補助費等 外郭団体などに対する運営費補助として支出する経費等のこと。報償費、火災・自動車損害保険料、負担金など
裏面に続く

図1 小田原市の歳入推計

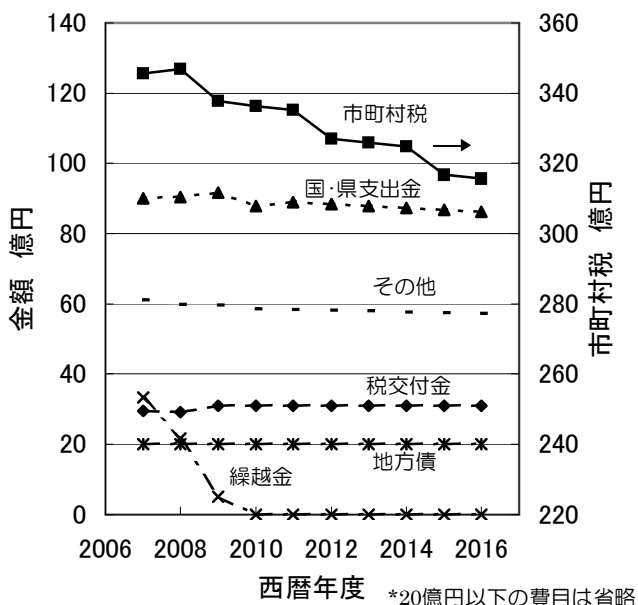


図2 小田原市の歳出(性質別)推計

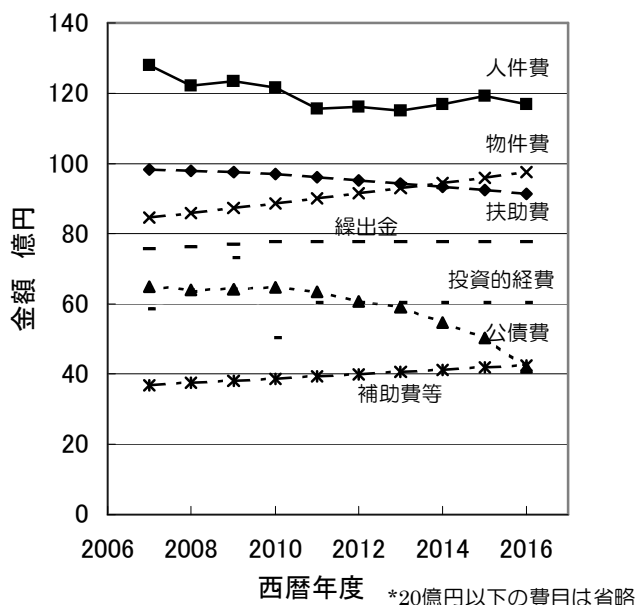
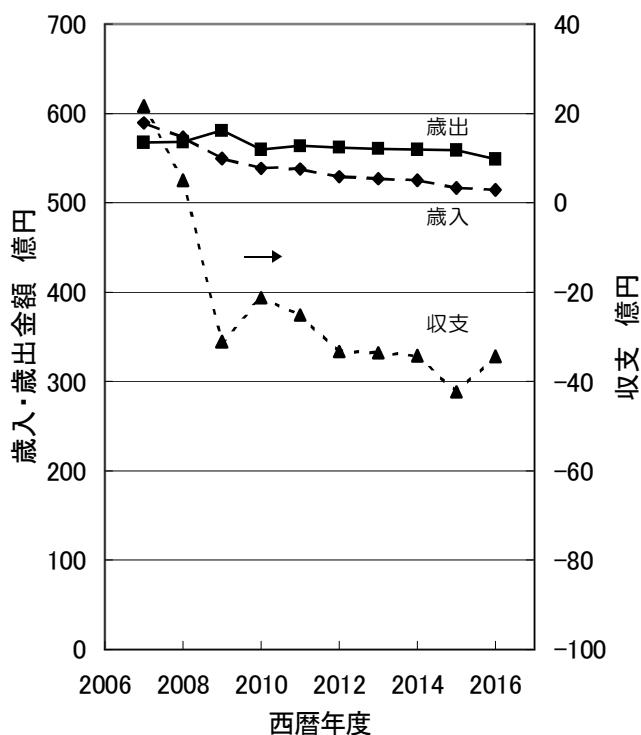


図3 小田原市の財政推計



■ 2009年度31億円収支マイナス

図3は、図1・図2の一般会計歳入から歳出を差し引いた収支をグラフにしたものです。これより、来年度以降、20～40億円マイナスの収支となる見込みです。合併検討会の県西地域市町合併に関する検討報告書（概要版）には、2市8町合計の収支のグラフしかありませんでしたが、**小田原市単独で見ると、実は来年度、31億円ものマイナスとなる推計結果となっているのです。**

行政は基本的に予算の収支をマイナスにはしないので、借金（地方債）をするか、既存サービスの質、量ともに見直す（下げる）必要があります。

■ 課題山積の中、高度な政治判断を

お城通り地区再開発事業、（仮称）城下町ホール、地下街、市民会館耐震問題、新総合計画・・・様々な課題がある中で、合併についての判断が最も重要です。任意合併協議会を立上げ、新法期限に間に合わせるには9月定例会での補正予算計上が最終期限でした。私は、合併新法の補助が得られるこの時期を逃したら、むしろ合併しない方がいいと考えています。将来的な合併を目指す姿勢は、問題の先送りとは思えません。

The Voice これまでに頂いたご意見から

（仮称）城下町ホールの設計について

建築という観点から見ると高度な芸術性を秘めており、素晴らしい作品ですが、肝心の使い勝手などはどうでしょうか？ 以前配布されたピラでは井上ひさし氏や前進座の橋本氏も湾曲ホールはだめと、**演劇の専門家はみな口をそろえてダメ**といっています。四季も来ないし、まともな劇団は来ないそうです。また前回の市長選では**全候補者が設計見直しを公言**していました。

（仮称）城下町ホールは、劇場ではありません。**音響性能の良い中規模の多目的ホール**です。市民会館の利用実績から、劇場としての利用は15%程ですから、**音楽ホールを基本として、劇場としても使える構成で何ら問題はない**と考えています。

公約はともかく、（仮称）城下町ホールの設計は、予算を議決し既に1億5750万円も支出済みです。設計を無料で行ってくれる業者があれば別ですが、ホールの設計費を新たに議案として上程するには、**同一費目の二重支出**になります。こんなことを議会が簡単に認める訳にはいきません。

武松政策研究会からのお知らせ

10月の勉強会、及び11月の月刊武松の発行・配布は、**衆院選の公示期間**にかかる可能性があるため**中止**いたします。



i-mode HP →



HPIは、**YAHOO!**で「たけまつただし」 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 大井町支店出張所 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで
月刊武松は**本人とボランティアが配布**しているため、行き届かないところがありますが、読み終わりましたら知合いの方にお渡しいただくと幸いです。また、**eメールでも送付していますので連絡下さい。**